

「2022年度春季研究発表大会」のお知らせ

第33回 国際P2M学会 研究発表大会 The 33rd Congress of International P2M Association

「これからのプログラムマネジメント教育」

2022年度の国際P2M学会春季研究発表大会を、下記の要領にて開催いたします。大会テーマは、「これからのプログラムマネジメント教育」です。つきましては、会員の皆様の研究発表を募集いたします。発表ご希望の会員は、今後ご案内する申し込み要領をご参照のうえ、期限までにお申し込みください。

なお、本大会は対面（千葉工業大学 津田沼キャンパス）とオンラインのハイブリッド形式にて開催する予定です。

1. 大会テーマ

「これからのプログラムマネジメント教育」

2. 開催日・形式

開催日 : 2022年4月23日（土）

開催校 : 千葉工業大学 津田沼キャンパス 7号館4階（予定）
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼 2-17-1

開催形式 : ハイブリッド形式（対面での参加を基本とするも、オンラインでの参加も可能）
※発表方法や参加方法の詳細は、決定次第本学会のHP上に掲載します。
※新型コロナウイルスの感染状況によっては全面オンラインに変更する可能性もあります。

受付開始時刻・場所 : 9:30、7号館4階

最寄駅 : JR 総武線／津田沼駅《南口》 徒歩1分
京成線／京成津田沼駅下車《北口》 徒歩10分
新京成線／新津田沼駅下車 徒歩3分

アクセスマップ : <http://www.it-chiba.ac.jp/institute/access/tsudanuma/>

キャンパスマップ : <https://www.it-chiba.ac.jp/institute/campus/tsudanuma/>

3. 開催団体に関する情報

主催 : 一般社団法人 国際P2M学会（※）

会長 : 国際P2M学会会長 山本秀男

開催校 : 千葉工業大学

実行委員長 : 千葉工業大学 社会システム科学部 プロジェクトマネジメント学科 教授 小笠原秀人

実行副委員長 : 千葉工業大学 創造工学部 デザイン科学科 准教授 西田絢子

※一般社団法人 国際P2M学会 : 国際P2M学会事務局 〒162-0801東京都新宿区山吹町358-5
アカデミーセンター（平日：10時～17時）TEL: 03-6824-9371 / FAX: 03-5227-8631

4. 大会趣旨

科学技術イノベーションを担う多様な人材の育成・活躍促進の重要性が指摘されて久しい。その中でも、研究開発活動における研究開発マネジメントとそれを担うプログラムマネージャの導入が重要視されています。その背景には、経済・社会的なインパクトを重視したバックキャスト型の研究開発制度が増加していることが挙げられます。さらに、昨今の企業活動においては、新しいデジタル技術によって既存のビジネスから脱却し、新たな価値を生み出すためのデジタル・トランスフォーメーション（DX）の取り組みが加速しています。

このように、研究開発の成果やデジタルテクノロジーを用いたさまざまな変革は、社会のあらゆる場面に押し寄せています。このような状況の中、この変革を推進する人材（プログラムマネージャ）を育成するために、大学においては「各教科での学習を、実社会での問題発見・解決にいかしていくための教科横断的な教育」の取り組みが広がっています。また、企業においては「組織の戦略や方針のもとで複数のプロジェクトを同時に遂行する複雑な多目的型の活動」を実践するための教育に力を入れ始めています。

しかしながら、日本においてプログラムマネージャという位置付けは、プロジェクトを推進するためのリーダーであるプロジェクトリーダーと比較して、定着・認知されているとは言い難く、故に人材層は薄く、その育成システムも確立されていないと考えられます。

本大会ではこのような問題意識の下で、「これからのプログラムマネジメント教育」をテーマに、さまざまな変革を推進するための中核となるプログラムマネジメントに焦点をあて幅広く議論します。まず、基調講演では、これからの教育設計において特に重要となる考え方について紹介していただきます。次に、大学、企業、公的な研究開発の各分野における人材育成について、それぞれの分野から識者をお招きし、現状の課題とその課題を解決するための教育内容について紹介していただきます。

以上のとおり、「これからのプログラムマネジメント教育」をテーマに、皆様と議論していきたいと思っております。多くの方々のご参加をお待ち申し上げております。

5. 大会スケジュール ※ 都合により、変更される場合があります。

(9:30) - 12:00 研究発表（午前の研究発表プログラムは、2022年4月中旬頃決定予定）

12:00 - 13:00 昼食休憩

13:00 - 13:25 総会（学会員のみ）

13:25 - 13:30 休憩

13:30 - 13:50 開会挨拶 山本秀男 氏（国際 P2M 学会会長）

開催校挨拶 千葉工業大学 社会システム科学部長 教授 岩下基 氏

発表奨励賞の発表（授賞式はパネルディスカッション後に実施）

13:50 - 14:40 基調講演

14:40 - 14:55 休憩

14:55 - 16:25 パネルディスカッション

16:25 - 16:35 休憩

16:35 - 16:45 授賞式、閉会挨拶 亀山秀雄 氏（国際 P2M 学会副会長）

6. 基調講演者

熊本大学 大学院社会文化科学研究科 教授システム学専攻 教授

鈴木克明 氏

<https://www.gsis.kumamoto-u.ac.jp/professors/katsuaki-suzuki/>

7. 発表者への要旨及び予稿投稿に関するご案内

◆ 要旨の投稿期限及び方法

投稿期限 : 2022 年 2 月 21 日 (月) 24 時 (厳守)

投稿方法 : 要旨は、次の URL から、web 登録画面に従い入力して下さい。

http://www.iap2m.org/regist_smallcongress.html

査読選択 : 予稿論文の審査を希望される方は、査読希望「●有」を画面上で選択してください。

尚、採択後の論文の学会誌掲載料は 30,000 円です。

スライド形式のみの予稿も歓迎します。但し、その場合、査読は選択できません。

◆ 予稿の投稿期限及び方法

投稿期限 : 2022 年 3 月 28 日 (月) 24 時 (厳守) ※締切後の投稿は一切受け付けられません。

投稿方法 : 要旨投稿時に登録されたメールアドレス宛に、後日、編集委員から「予稿投稿方法」に関するメールが届きます。それに従い、MS-Word および PDF 形式の予稿を投稿してください。

◆ 受付メール確認のお願い

要旨及び予稿投稿後各 1 週間以内に、編集委員より受付メールを登録アドレス宛に送信します。

なお「(at)iap2m.org ((at)を@に読みかえてください。)」のドメインから届くメールが、迷惑メールフォルダに入らないように設定してください。万が一、着信しなかった場合は、下記学会事務局宛にお問い合わせ下さい。

国際 P2M 学会事務局 <http://iap2m.org/con-2/>

◆ 査読を希望される方へ :

査読論文 : 当学会では、予稿が査読論文として審査されます。ただし、発表された論文に限ります。

頁数 : 最大 20 ページ

論文形式 : 本学会 HPI「学会論文関連情報」(下記 URL)にある規程等(「学会論文投稿規程」、「学会論文投稿規程補足」、「著作権規程」)を遵守してください。合わせて「学会論文審査規程」についてもご確認ください。これらは 2021 年 8 月 7 日に新たに掲載されたものであり、従来のものより改訂されていますので、必ず確認いただくようお願いします。

また「書式サンプル」も下記 URL に掲載されていますので、ご活用ください。

学会論文関連情報 : <http://iap2m.org/ronbun-info/>

補足 : (1) 予稿集に掲載された論文は、辞退などにより発表されなかった場合も、同じ内容では再投稿はできません。

(2) 予稿に P2M との関連性と関連参考文献を明記願います。

当学会の過去の論文誌は、J-stage から閲覧できます(最新号は会員のみ閲覧可)。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/iappmjour/-char/ja>

(3) 論文執筆経験が浅い方は、次のリンクにある Youtube「IAP2M チャンネル」にある P2M の基礎

知識、事例による P2M の理解、論文の書き方に関する動画を視聴するほか、学術論文作成経験者から論文作成の指導を受けることをお勧めします。

<https://www.youtube.com/channel/UCeBCLQNhDeNApbaYVi7EfuA>

英文の要旨（または英文本文）は、可能な限り英文としての品質向上に努めて下さい。

- ◆ 発表方法：発表者は、対面で参加、あるいはオンラインで参加のどちらかを選択して下さい。
（予定） どちらの参加形式の場合でも、発表時には Zoom に入り、“画面を共有”して発表して下さい。
Zoom の URL は、大会前日までにお知らせします。
発表は録画し、期間限定で大会参加者に公開します。
※ 上記の発表方法は予定であり、変更される場合があります。
※ 発表方法の詳細は、決定次第本学会の HP 上に掲載します。
- ◆ 発表時間：発表 15 分以内、質疑応答 5 分
投稿された論文数によって発表時間等は変動する可能性があります。
詳細は 4 月中旬以降に学会 HP 上で発表しますので、ご確認ください。
- ◆ 発表奨励賞：各発表分野別に受賞者を選出し、表彰します。

8. 研究発表大会参加費と参加申し込み方法

大会参加費と大会参加費振込み先銀行口座については、2 月上旬に学会 HP 上に掲載しますので、ご確認ください。
また、参加申し込みについては、現在、参加申し込みのための Web サイトを準備中です。こちらについても、Web サイトの準備ができ次第学会 HP 上に掲載しますので、ご確認ください。

9. P2M セミナー動画の更新、掲載

国際 P2M 学会では、P2M の基礎知識や適用事例を知りたい方、本分野での研究発表や論文投稿経験の浅い方のために、これらを本学会ベテラン講師陣が分かりやすく解説した次のセミナー動画（YouTube）を作成しています。

今般、これまで掲載されていたものに加えて、次の二つの動画を追加しました。

「プログラムマネジメントの概要 – 企業経営とプロジェクトの事例から–」 武富為嗣 評議員会議長

「P2M に関する FAQ」 山本秀男 会長

詳しくは、次のリンクをご参照ください。

<http://iap2m.org/youtube/>

10. お問い合わせ先：国際 P2M 学会事務局 <http://iap2m.org/con-2/>

以上